

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型通所支援事業所 愛			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 28日 ~ 令和7年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 28日 ~ 令和7年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	15名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様が安心し、楽しめる環境づくりを心がけている。	利用者さまが楽しんでいたり、興味をもっていた活動等は職員間で共有し、ご家族とも話し合って次回の個別支援計画等に加えている。	他事業所や学校等とも連携、情報交換、共有を行い、これまで行っていなかった活動等あれば取り入れていき、利用者様の可能性を広げていきたい。
2	送迎がドアtoドアの為、比較的、ご家族と直に話し合える環境が整っている。	ご家族と話し合った事は、管理者への報告と必ず翌日の会議でも共有し合い、意見交換も行うことで、より良い方法を模索するようしている。 また事業所専用のLINEも作成し、ご家族にお知らせしており、何かある際はそちらでも対応を行えるようにしている。	
3	看護師以外に喀痰吸引等（特定行為）の資格者を事業者登録しており、特定行為について手厚く行えている。	看護師とは違うが、喀痰吸引等（特定行為）登録者がいるため、主治医の指示書及び看護師の指示の元、連携分担をしてケアにあたっている。	今後も資格取得可能になった職員がいる場合には検討し、キャリアアップの為にも研修実習を行ってもらう事を考えている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が借家であるため、厚生労働省が定める基準は満たしてはいるものの、狭いと感じる事がある。	利用者様のご利用状況によってはお布団を敷いて対応させていただく必要があり、お布団をご利用される利用者様が多いと少し狭いという印象を感じている。	3月1日より事業所拡大に伴い、認可を得て、移転を行った為、以前より広々している。利用者様にも笑顔が見られ、安心している。
2			
3			